

	第1段階 (6月～)	第2段階 (7～8月)
目標	<p>一日の流れ、夜勤看護師の役割がわかる</p> <p>入院患者の夜間の生活状況がわかる</p> <p>夜勤業務の流れを知る</p>	<p>担当する患者のケアに責任をもつ</p> <p>夜勤業務の流れを理解し、行動できる</p> <p>申し送り基準に沿った申し送りができる</p>
内容	<p><u>夜勤業務のオリエンテーション (6月上旬)</u></p> <p>ペアで業務を行う</p> <p>申し送り基準に沿った指導を行う</p> <p>先輩看護師が指導しやすいように周囲 (介護職員・他の夜勤者) がフォローする</p> <p>< 1回目 ></p> <p>業務の流れを確認しながら先輩看護師の動きを観察する</p> <p>< 2回目 ></p> <p>軽い2部屋の患者を担当し、行動計画を立てて先輩看護師とともにケアする</p> <p>その他の部屋は、先輩看護師とともにケアする</p> <p>< 3・4回目 ></p> <p>3部屋を担当する。先輩看護師がフォローする</p>	<p>病棟の半数までの部屋を担当する</p> <p>その他は先輩看護師とともにケアする</p> <p>自分の担当する部屋のみみるのではなく、夜勤の全体を体験しながら自分の担当する部屋に責任を持つ</p> <p>< 5回目以降 ></p> <p>担当する患者に対して、申し送りから記録まで行う</p> <p>* 経管栄養の準備・施行を行う</p> <p>* 与薬業務は行わない</p> <p>薬の内容を調べた後、日勤で昼食時の与薬業務を経験する。その後、与薬業務を開始する</p>
指導にあたる先輩看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は夜勤の流れがわかれば良しとする ・単なる見学に終わらせず、夜勤業務基準を持ちながらメモするように指導する ・夜勤の緊張をほぐす。多数の患者を同時にケアするという夜勤の特徴を経験してもらおうが過緊張していないか配慮する ・昼間に仮眠をとり、夕方出勤するのは初めての体験なので体調に気を配る ・ケアや処置は、初めは見学、次に一緒に行く ・分からないことを分からないと言える関係をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人が担当する患者に関しては、最初に行動計画を確認してアドバイスする ・先輩看護師が担当する患者に関しては日勤からの申し送り後に観察や注意する点を伝える。病棟全体の流れに目を向け、先輩看護師の担当する重症者、急変患者にも関心が持てるように意識づける ・実際の点滴・吸引などのケアの場面では新人の後ろから見守る。ケアの優先順位を考慮することができるように援助する ・観察やケアに集中しすぎて、患者の睡眠を妨げることがないように注意を促す
エルダー・主任 (指導者)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤前、指導にあたる先輩看護師と情報を共有し、指導内容を伝達する ・夜勤後、先輩看護師と情報交換を行う ・指導者と夜勤での様子を振り返るできていることを認める ・次の夜勤の指導にあたる先輩看護師と情報を共有し、指導内容を伝達する ・<u>夜勤の指導者は教育面・安全面を考え、アシエイトもしくはそれ相当のスタッフが行う</u> <p>* 師長・副師長・主任・エルダー等が相談し、次の段階に進んでよいか見極める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤前、指導にあたる先輩看護師と情報を共有し、指導内容を伝達する ・夜勤後、先輩看護師と情報交換を行う ・指導者と夜勤での様子を振り返る ・指導者ができていることを認める ・不安や疑問な点を聞き、アドバイスする ・次の夜勤の指導にあたる先輩看護師と情報を共有し、指導内容を伝達する <p>* 師長・副師長・主任・エルダー等が相談し、次の段階に進んでよいか見極める</p>

第3段階（9～3月）	
目 標	<p>病棟の半数の患者をひとりでケアできる</p> <p>重症者のケアを先輩看護師と共に行える</p> <p>疑問に思ったことは自分から先輩看護師に聞ける</p> <p>患者に起こりうる問題を予測し、先輩看護師に支援をもらいながら急変時の対応ができる</p> <p>与薬業務がひとりでできる</p> <p>申し送りから記録まで、夜勤業務・ケアに責任を持つ</p>
内 容	<p>重症患者も受け持つ</p> <p>急変時などは新人も一緒に体験する</p> <p>患者の急変や病状変化があった時は、すみやかに先輩看護師に相談する</p> <p>担当以外の患者に注意を払いながら勤務する</p> <p>介護職との連携をとりながら勤務する</p>
指 導 に あ た る 先 輩 看 護 師	<ul style="list-style-type: none"> ・新人が担当する患者に関しては、最初に行動計画を確認し、後は見守るだけにする (申し送り前にはチェックする) ・助言を求められたことに対応する ・適宜見回りながら、必要ならアドバイスする ・新人ができるようになったことを認めながら見守る姿勢を継続する ・夜勤の終了後は必要に応じて総括し、今後に向けてのアドバイスをする
エ ル ダ ー ・ 主 任 (指 導 者)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤の指導にあたった看護師と情報交換を行う ・指導者と夜勤での様子を振り返る ・夜勤業務で新人ができていることと、できていないことを整理して伝える ・不安や疑問な点を聞き、アドバイスする ・必要に応じて次に夜勤の指導にあたる先輩看護師に情報を伝達する <p>*半数の患者を担当し業務がひとりでできるか、師長・副師長・主任・エルダー等が相談し、見極める</p>

*夜勤業務に入る時期については、各病棟で検討も可